

---

# キヨンの自衛隊生活

カトタク

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

キヨンの自衛隊生活

### 【Nコード】

N2761Y

### 【作者名】

カトタク

### 【あらすじ】

キヨンがハルヒに言われて自衛隊に体験入隊する話です。連載するかは未定

## 試し書き(前書き)

友達にリクエストされたので書いてみました。ハルヒ×自衛隊です。ではどうぞ。

## 試し書き

ようやく待ちに待った夏休み。まあどっちにしろ我が団長様のせいですぐに終わっちゃうんだろうけど。

「あんたちよつと自衛隊に入って来なさい」

は？部室に入ったとたん何を言い出すのやら……。自衛隊？そんなのどうやったら入れるんだよ。さすがに古泉でも……

「そういえば防衛省に友人がいるんですよ。よろしければ体験入隊の口利きをしますが？」

……お前。機関とやらは自衛隊まで巻き込んでるのか。

「でもな、なんで俺が自衛隊に入らなきゃならんのだ。そりゃ国家を守るなんてかっこいいとは思うよ？就職先にだって考えたことあるさ。今だって防衛大学の受験対策……」

あれ？断る理由なくね？

「……分かった。体験入隊してきてやろう。ただし1週間だけだ。それまで何があっても入隊しといてやる。だがその先は俺の自由意思だ。それでいいか？」

「いいわよ。それにしてもあんた、いつもと違っていやに乗り気じゃない？」

「そりゃ自衛隊だからな」

「意味分かんないわよ。それじゃ古泉君。さっそくお願い」

「分かりました。電話してきますね。あなたは明日からでも平気ですか？」

いきなりかよ。まあさっさと終わらせたいしな。

「ああ、明日からでいい」

その一言から、俺の最悪の夏休みが幕を開けたのだった。

「まあ、やっぱり陸自だよな」

昨日の間にまとめておいた7日間の私物をボストンバックに詰め、古泉に手渡された地図を見て歩いて行くと眼前に自衛隊駐屯地へと続く営門が見えてきた。駐屯地の名前は・・・習志野駐屯地。有名な第一空挺団や特殊作戦群が編成されている駐屯地である。ってかそこはかたなく体験入隊の部隊に不安があるのだが・・・。

営門前の自衛隊員に古泉から渡されたパスケースを見せると隊員は冷や汗を浮かべて直立不動の敬礼をした。・・・古泉。一体何を吹き込んだ・・・。

「キヨン二等陸尉、到着しました!!」

二等陸尉って・・・中尉待遇かよ!?! 本当になにやったんだ・・・?

「迎えに上がりました。二尉」

「へ? え、あ、ありがとうございます」

隣にはいつの間にか高機動車が止められ、三曹の階級章を付けた隊員がドアを開けてくれた。

運転席には陸将補の章を付けた隊員が・・・ってこの階級は・・・  
「こんにちは。キヨンさん。私が習志野空挺団団長の野村武のむらたけし 陸将補です。古泉から話は聞いていますよ。涼宮さんのご機嫌取り、御苦労さまです」

「い、いえ。自衛隊の型に比べたらそんな大変なことではないですから」

この団長。隣に座っているだけで威圧感（もちろん団長地震は威圧しているつもりはない）がバリバリする・・・。

「ところで、キヨンさん。我が団に体験入隊ということによろしいですか?」

はい。俺死んだねこれ。

## 試し書き（後書き）

更新するかは未定です。希望があれば感想をどうぞ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2761y/>

---

キヨンの自衛隊生活

2011年11月6日13時19分発行